

訂
原稿
正本

どりび書

第一章一

キリスト、イエスの僕たる我らパウロとテモテと書を
どりびにキリスト、イエスに在る凡ての聖徒および監督
たちと執事たちとに贈る。願くは我らの父なる神及び主
イエスキリストより賜ふ恩恵と平安と汝らに在らんこと
を。

我、汝らを憶ふごとに、我が神に感謝し、常に汝ら衆のた
めに、願ひのつど喜びて願をなす。これ汝ら初の日よ
り今に至るまで福音を擴むる事に與るが故なり。汝らの
衷に善き業を始め給ふべきことを確信す。わが斯くも汝

聖書改譯原稿用紙

ら衆を思ふは當然の事なり、汝らは皆我が縲綆にある時に
も福音を辨明して之を堅固する時にも、我と共に恩恵に與
るによりて、我が心にあればなり。我いかにキリスト、イエ
スの心をもて汝ら衆を戀ひ慕ふが、其の證をなし給ふ者は
神なり。我は祈る、汝らの愛、智識ともろろの悟により
て彌が上にも増し加ひ善惡を辨へ知りキリストの日に至る
まで潔くして躓くことなく、イエスキリストに由る義
の果を充たせて、神の栄光と譽とを顯さん事を。
兄弟よ、我はわが身にありし事の反つて福音の進歩の助
となりしを汝らが知らん事を欲するなり。即ち我が縲綆

増かり、
善惡と
*或は「顯蹟」とある
事ありとす

われ汝ら
是れなんぢら
弘むることに
二文字

ますます
みて

宣傳

誠意
如何ん

面 のキリストの爲なることは近衛の全營にも他の凡ての人
にも頭れ かつ兄弟の中おほの多くの者は我わが縲紲なはめによりて

五 主を信ずる心を厚くし懼るゝ事なく増々勇みて神の言を
語るに至れり。 或者は嫉妬と分争によりてキリスト

六 宣べ傳へ、或者は善き心によりて之を宣べ傳ふ。 これは
福音を辯明するためふくじんに我わが立てられたる事を知り愛によ

七 りてキリストを宣べ傳ふ。 かれは我が縲紲に患難を加へ
んと思ひ清き心によらず徒黨によりて之を宣ぶ。 さらば

九 如何いかん、外貌にもあれ真まことにもあれ孰れも宣ぶ所はキリスト
なれば我われこれを喜ぶまた之を喜ばん。 そは此の事の汝ら

聖書改譯原稿用紙

十 の祈といエスキリストの御靈の賜物によりて我が救と
あるべきを知ればなり。 これはわが何事をも恥ぢずして

三 今も常のごとく聊かも臆することなく生くるにも死ぬる
にも我が身によりてキリストの業められ給はん事を切に

三 願ひ、また望む所に通へるなり。 我にとりて生くるはキリ
ストあり死ぬるもまた益なり。 されど若し肉體にて生く

三 事、わが勤勞の果となるならば孰れを選ぶべきか我これ
を知らず。 我はこの二つの間に介まれたり。我が願は世を

五 去りてキリストと偕に居らんことなり、これ遂に勝るなり。
されど我なほ肉體に留るは汝らの爲に必要なり。 我こ

我にかかへ

また彼のために

モ

モ

元

元

辛

れを確信する故に、なほ存へて汝らの信仰の進歩と喜悦と

との爲に汝等凡ての者と偕に留らんことを知る。これは

我がふた、び汝らに到る事により、汝らキリスト、イエスに

在りて我に関る誇を増さん爲なり。汝等たキリスト

の福音に相應しく日を過せ、然らば我が往きて汝らを見

るも、離れ居て汝らの事を聞くと、汝らが霊を一つにして堅

く立ち心を一つにして福音の信仰の爲に共に戦ひ、凡て

の事に於て逆ふ者に驚かされぬを知ることを得ん。その驚

かされぬは、彼らには亡の徴、かんぢらには救の徴にて此は

神より出づるなり。汝らはキリストの爲に霊に彼を信す

聖書改譯原稿用紙

る事のみならず、亦かれの爲に苦しむ事をも賜はれたれば

なり。なんぢらが遭ふ戦闘は、裏に我の上に見しところ、今

また我に就きて聞く所に同じ。

ピリピ書

＊或は「神と等しき」
事を強ひ執らんとせしと得す

勝り

采心とく

別行二字
常に服ひ

一 この故にもしキリストによる 勸愛による 慰籍、御霊の
交際、また 憐憫と慈悲とあらば、
うし、心を合せ、思ふ事を一つにして、我が喜悅を充たしめよ。
二 何事にまれ、徒黨また虚栄の爲にすなわ、己の諍避をも
て互に人を己に愈れりと為よ。 おの己が事のみを顧
みず、人の事を顧みよ。 汝らキリスト、イエスの心を心と
せよ。 即ち彼は神の貌にて居給ひしが、神と等しくある事
を固く保たんと思はず、 反つて己を空しうし、僕の貌をこ
りて人の如くなれり。 既に人の狀にて現れ、己を卑うして
死に至るまで十字架の死に至るまで 順ひ給へり。 この故
に神は彼を高く上げて、之に諸般の名にまさる名を賜ひた
り。 これ天に在るもの、地に在るもの、地の下にあるもの、悉
くイエスの名によりて膝を屈め、且もろくの舌のイエ
スキリストは主なりといひ表して、栄光を父なる神に帰せ
んためなり。
三 されば我が愛する者よ、汝ら常に 順ひ、ごく、我が居る時
のみならず、我が居らぬ今も 増々 順ひ、畏れ戰きて己が救を
全うせよ。 神は御意を、あさん、爲に、汝らの表にはたらし、汝
等をして、心志をたて、業を行はしめ給へばなり。 汝ら、咳か

聖書改譯原稿用紙

是なんぢら

五

ず疑はずして凡ての事を行へ。これ汝ら責むべき所なく

素直にして此の曲れる邪惡ある時代に在りて神の瑕なき

子とあらん為なり。汝らは生命の言を保ちて、世の光のこ

とく此の時代に輝く。斯て我が走りしところ、勞せし所、三

七

しからずキリストの日に我誇る事を得ん。さらば汝らの

信仰の供物と祭とに加へて、我が血を灑ぐとも我は喜ばん

六

汝ら衆と共に喜ばん。斯く汝らも喜ぶ、我と共に喜ぶ。

われ汝らの事を知りて慰藉を得んとて、速かにテモテを

五

汝らに遣さんこと主イエスに頼りて望む。そは彼の他に

四

我と同じ心をもて眞實に汝らの事を慮ばかり者なければ

三

なり。人は皆イエスキリストの事を求めず、唯おのれの事

二

のみを求む。されどテモテの鍊達なるは、汝らの知る所を

一

り、即ち子の父に於ける如く我と共に福音の爲に勤めたり。

五

この故に我わが身の成行を見ば、直ちに彼を遣さんこと

を望む。我も亦速かに往くべきを主によりて確信す。さ

れど今はまづ我と共にに働き、共に戦し兄弟、即ち汝らの使

として我が窮乏を補ひしエパフロデトを汝らに遣すを必

今は先われ

二行

聖書改譯原稿用紙

ハツ斯のじとき
ハツ

元 六 手

を憐み給へり、童に彼のみならず、我をも憐み、憂に憂を重ね
しめ給はざりき。この故に急ぎて彼を遣す、汝らが再び彼
を見て喜ばん為なり。又わが憂を少うせんためなり。され
ば汝ら主にありて、喜を盡して迎へ、且かくの如き人を尊ぶ。
彼は汝らが我を助くるに當り、汝らの居らぬを補はんと
て、己が生命を賭け、キリストの事業の爲に死ぬる計にあり
たればなり。

聖書改譯原稿用紙

別行ニ書

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一

終りに我が兄弟よ、汝ら主に在りて喜べ。汝らに同じ事を
書きおくるは、我に煩はしきことなく、汝らには安然あり。
汝ら犬に注意せよ、惡しき労働人に注意せよ、肉の割禮あ
る者に注意せよ。神の御靈によりて、禮拜をなし、キリスト、
イエスによりて誇り、肉を恃まぬ我らは、眞の割禮ある者な
り。されど我は肉にも恃むことを得るなり、もし他の人、肉
に恃む所ありと思はば、我は更に恃む所あり。我は八日、
に割禮を受けたる者にして、イスラエルの族、ベニヤミンの
支派、ヘブル人より出でたるヘブル人なり。律法に就きては

聖書改譯原稿用紙

效

十一 十 九 八 七 六 五 四 三 二 一

パリサイ人、熱心につきては、教會を迫害したるもの、律法に
よれる義に就きては責むべき所なかりし者なり。されど
前に我が益たりし事は、キリストのために損と思ふに至れ
り。然り、我はわが主キリスト、イエスを知らざることの優れた
る爲に、凡ての物を損ふと思ひ、彼の爲に既に凡ての物を損
せしが、之を塵芥のごとく思ふ。これキリストを獲かつ律
法により已が義ならで、唯キリストを信する信仰による義
即ち信仰に基きて神より賜る義を保ち、キリストに在るを
認められ、キリストとその復活の力とを知り、またその死
に倣ひて彼の苦難に與り、如何よしして死人の中より甦

捉へん

捉へたり

みな斯のじき思ふ
たに我等は
その至る所

後?

聖書改譯原稿用紙

主へることを得んが為なり。われ既に取れり、既に全うせら

れたりと言ふにあらず、唯これを執へんとて追求む。キリス

トは之を得させんとて我を執へ給へり。兄弟よ、われは既

に執へたりと思はず、唯この一事を努む、即ち後のものの

面を忘れ、前のものに向ひて勵み、標準を指して進み、神のキ

リスト、イエスに由りて上に召し給ふ召に關る、褒美を得ん

とて之を追求む。されば我等のうち成人したる者は、皆か

くの如き思を懷くべし、汝等もし何事にて異なる思を懷

き居らば、神これをも示し給はん。兄弟よ、汝は、その至れる

所に隨ひて歩むべし。兄弟よ、汝ら諸共に我に效ふものと

なれ、且汝らの模範となる我らに循ひて歩むものを視よ。

そは我しば、汝らに告げ、今また涙を流して告ぐる如く、

キリストの十字架に敵して歩む者おほければなり。彼ら

の終は滅亡なり。己が腹を神となし、己が恥を光榮となした

だ、地の事のみに念ふ。されど我らの國籍は天に在り、我ら

は主イエス、キリストの救主として其の處より來り給ふを

待つ。彼は萬物を己に服はせ得る能力によりて、我らの卑

しき狀の體を化へて己が榮光の體に象らせ給はん。